

ES/1 NEO

MFシリーズ

V05L23R1

Release News Letter

IBMシステム

目次

【お知らせ】

ES/1 NEO MFシリーズのサポートについて
PC製品環境 サポート終了のお知らせ

【HOST】

資源使用量比較一覧	
リリースニュースレター機能一覧 プロセッサ別	… 1
リリースニュースレター機能一覧 カテゴリ分類別	… 2
文字コード変換支援JCLのご紹介	… 3
MF-ADVISOR	… 4
MF-SCOPE	… 6
MF-AUDIT	… 8
MF-eASSIST	… 10

【PC】

リリースニュースレター機能一覧 プログラム別	… 17
リリースニュースレター機能一覧 カテゴリ分類別	… 18
Performance Navigator	… 19

 株式会社 アイ・アイ・エム

本リリースニュースレターは、V05L23R1 のリリース内容をまとめたものです。過去のリリース内容につきましては、プロダクトメディア (x:¥Rnl) 内のレターをご参照ください。

改版履歴

日付	版数	内容
2026/3/1	1	V05L23R1 リリース

ES/1 NEO MFシリーズのサポートについて

各バージョンの通常サポート期間はリリースより30ヶ月間です。

バージョンはバージョン、レベル、リビジョンからなり、レベルを基準とします。後継リビジョンのリリースに伴い、旧リビジョンのサポートは延長されます。



図. 製品ライフサイクルのイメージ

<バージョン（バージョン・レベル・リビジョン）の確認方法>

ES/1 実行ログにて確認できます。

例) V05L23R1 の場合

V 0 5 L 2 x R x

バージョン レベル リビジョン

```
LICENSEE ----- TRIAL USER
EXPIRATION DATE ----- 2050/12/31
VERSION/LEVEL/REVISION --- 05.23.01
```

<今後のサポート予定>

今後のサポート期間について、お知らせします。

バージョン	リリース時期	サポート終了予定時期
V05L23R1	2026年3月	2028年9月30日
V05L22R3	2025年8月	2028年2月29日
V05L22R2	2025年2月	2028年2月29日
V05L22R1	2024年2月	2028年2月29日

<通常サポート中とサポート終了後の違い>

サポート終了後のバージョンも継続してご利用いただけます。

但し、不具合に対応した修正パッチは、最新リリースまたはサポート期間中のバージョンに対してのみの提供となります。サポート終了後のバージョンをご利用中に発生した不具合の対応については、原則として最新バージョンに対応した修正パッチを提供させていただきます。

	サポート期間中	サポート終了後
当該バージョンの継続使用	可	可
製品の使用方法に関するご質問	可	可
不具合発生時の調査	可	可※
不具合修正パッチの提供	可	不可

※ナレッジベースでの調査となります。

<バージョンアップのお願い>

通常サポート期間を終了したバージョンについては、限定的なサポートのみの提供となります。最新バージョンへのバージョンアップのご検討をお願いいたします。

PC製品環境 サポート終了のお知らせ

現在、MF-eASSIST でサポートしています次のオペレーティング・システム、アプリケーションを、下記の期日でサポート終了とさせていただきます予定です。

<サポート終了オペレーティング・システム>

Microsoft® Windows® 10 サポート終了時期：2026年10月末

<サポート終了アプリケーション>

Microsoft® Excel2016 / Word2016 サポート終了時期：2026年10月末

Microsoft® Excel2019 / Word2019 サポート終了時期：2026年10月末

V05L23R1 では、MF-eASSIST の対象環境は次の通りとなります。

<オペレーティング・システム>

Microsoft® Windows® 10 (2026年10月末まで)

Microsoft® Windows® Server 2016

Microsoft® Windows® Server 2019

Microsoft® Windows® Server 2022

Microsoft® Windows® Server 2025

Microsoft® Windows® 11

<アプリケーション>

Microsoft® Excel2016 / Word2016 (2026年10月末まで)

Microsoft® Excel2019 / Word2019 (2026年10月末まで)

Microsoft® Excel2021 / Word2021

Microsoft® Excel2024 / Word2024

Microsoft® 365 Apps (Office®365)

Microsoft Edge

Google Chrome

.NET Framework 4.6.2 以上

資源使用量比較一覧

本資料は、ES/1 NEO MFシリーズ V05L23R1 と、以前のリリース (V05L22R3) との資源使用量比較一覧です。
各項目の意味は以下の通りです。

CPU	以前のリリースと比較し、CPU時間が1割以上増加することがある場合、●としています。 この結果は、入力されるデータにより異なります。
STG	本体
	データ

		V05L22R3 vs V05L23R1		
		CPU	STG	
			本体 (KB)	データ
MF-ADVISOR	CPECNVRT	—	0	—
	CPEPRT00	—	0	—
	CMOSPRTO	—	0	—
	HIBICHKO	—	0	—
	CPEREG00	—	0	—
	SMFPRT00	—	0	—
	CPEDSN00	—	0	—
	RAIDPRTO	—	0	—
	RAIDCNFO	—	0	—
	VOLLST00	—	0	—
MF-MAGIC	CPEDBAMS	—	0	—
	BOXSYS00	—	0	—
	BOXWLC00	—	0	—
MF-SCOPE	JOBANLST	—	0	—
	JOBMONTH	—	0	—
	JOBDTL10	—	0	—
	AUDITPRT	—	0	—
	AUDITMON	—	0	—
	PNAVIADT	—	0	—
MF-PREDICT	PRDIOS00	—	0	—
	CPEDSN00	—	0	—
	CPEREG00	—	0	—
MF-AUDIT	AUDITPRT	—	0	—
	DSNGSV00	—	0	—
	AUDITMON	—	0	—
	PNAVIADT	—	0	—
MFシリーズ 支援ライブラリ	CPEDASD0	—	0	—
	PAGPRT00	—	0	—
	CPEVOLGP	—	0	—
	CPEAPE0	—	0	—
	CPEVTS00	—	0	—
	CPEVSM00	—	0	—
	DSNGSV00	—	0	—
	TSSCSV00	—	0	—
	CPETS700	—	0	—
	JOBDSNCV	—	0	—
VOLCHK00	—	0	—	
MF-eASSIST	PNAVICEC	●	0	●
	PNAVJOB0	—	0	—
	PNAVJOB1	—	0	—
	PNAVIVSP	—	0	—
	PNAVIMS	—	0	—
	PNAVIMSL	—	0	—
	PNIMSFPO	—	0	—
	PNAVCIOS	—	0	—
	PNAVIVTS	—	0	—
	PNAVIVSM	—	0	—
	PNAVIB2	—	0	—
	PNAVIAADT	—	0	—
	PNAVTS70	—	0	—
	PNAVICSST	—	0	—
PNAVISR	—	0	—	
MF-ZVM	ZVMPT00	—	0	—
	ZVMCSV00	—	0	—
MF-WebSphere	CPEWAS00	—	0	—
MF-DB2	CPEDB200	—	0	—
	DB2TRCOO	—	0	—
MF-CICS	CICSPRTO	—	0	—
	CICSTRCO	—	0	—

※本体の使用仮記憶領域の増加が大きい場合、該当の箇所の色を付けて表示します。

例	MF-ADVISOR	CPEPRT00	—	124	—
		CMOSPRTO	—	4	—

- 注意：(1) 本資料は弊社環境 (IBM環境) での結果に基づいています。環境により異なる場合がありますので、参考資料としてください。
(2) 実行時に仮記憶領域不足が発生する場合は、OVER16機能をご使用ください。

【OVER16機能 指定方法】 実行するプロセッサのJCLに次のような指定を追加してください。

REGIONサイズの指定は、お客様の環境に応じて変更してください。

//SHELL EXEC PGM=CPESHELL, REGION=1024M, PARM=PARM	<=追加・変更
//SYSPPRINT DD SYSOUT=*	
//SYSUDUMP DD SYSOUT=*	
//SYSUT1 DD UNIT=SYSDA, SPACE=(TRK, (10, 5))	
//CPEPARM DD *	<=追加
OVER16=SYMBOL	<=追加
OSTYPE=#OSTYPE	<=追加

OVER16機能の詳細につきましては「ES/1 NEO MFシリーズ 使用者の手引き 共通編 (IBM / 富士通 / 日立システム)」
'3.3.2 OVER16機能' をご参照ください。

【HOST】機能一覧 プロセッサ別

新規プロセッサ

プロダクト	プログラム プロセッサ	分類	項番	項目	非互換	数値 変更	表示 変更	スイッチ 追加	特記事項	参照 ページ	記事 番号
MF-支援ライブラリ	SORTETOA	拡張	1	文字コード変換支援JCL(SORTETOA)						3	523-101

既存プロセッサ

プロダクト	プログラム プロセッサ	分類	項番	項目	非互換	数値 変更	表示 変更	スイッチ 追加	特記事項	参照 ページ	記事 番号	
MF-ADVISOR	RAIDPRT0	拡張	2	ESSリンク統計のアダプタ種別追加					z/OS 3.1	4	523-102	
MF-SCOPE	AUDITMON	不具合	3	日時指定範囲外のデータでWARNING出力						6	523-103	
	PNAVIADT	不具合	4	日時指定範囲外のデータでWARNING出力						7	523-104	
MF-AUDIT	AUDITMON	不具合	5	日時指定範囲外のデータでWARNING出力						8	523-105	
	PNAVIADT	不具合	6	日時指定範囲外のデータでWARNING出力						9	523-106	
MF-eASSIST	PNAVICEC	拡張	7	zIIP関連情報対応					z/OS 3.1	10	523-107	
		拡張	8	ESSリンク統計のアダプタ種別追加					z/OS 3.1	10	523-108	
		拡張	9	仮想記憶専用域情報の拡充							11	523-109
	PNAVJOB1	拡張	10	zIIP関連情報対応					z/OS 3.1	12	523-110	
		拡張	11	ジョブステップ毎の最大完了コードを出力							12	523-111
		不具合	12	存在しないプリンタレコードの出力指定で配列エラー							13	523-112
	PNAVIB2	拡張	13	課金情報の出力を抑制					●		14	523-113
		拡張	14	DB2サブシステム選択処理の改修							14	523-114
		不具合	15	サブセット時の処理範囲に誤り							15	523-115
	PNAVIADT	不具合	16	日時指定範囲外のデータでWARNING出力						16	523-116	

◇表項目の説明

- 非互換 : 新旧バージョン間で、JCLやパラメータを変更しないとES/1が動作しない場合に●が付きます
- 数値変更 : 本バージョンの適用により出力される値(数値/文字列)に変更がある場合に●が付きます
- 表示変更 : 新規項目追加等により、レイアウトが変更した場合に●が付きます
- スイッチ追加 : 新規スイッチが追加された場合に●が付きます
- 特記事項 : OSのバージョン、対象データなど環境が特定できる場合に明記します

【HOST】機能一覧 カテゴリ別

新規プロセッサ

プロダクト	プログラム プロセッサ	分類	項番	項目	非互換	数値 変更	表示 変更	スイッチ 追加	特記事項	参照 ページ	記事 番号
MF-支援ライブラリ	SORTETOA	拡張	1	文字コード変換支援JCL(SORTETOA)						3	523-101

既存プロセッサ

拡張一覧

プロダクト	プログラム プロセッサ	分類	項番	項目	非互換	数値 変更	表示 変更	スイッチ 追加	特記事項	参照 ページ	記事 番号	
MF-ADVISOR	RAIDPRTO	拡張	1	ESSリンク統計のアダプタ種別追加					z/OS 3.1	4	523-102	
MF-eASSIST	PNAVICEC	拡張	2	zIP関連情報対応					z/OS 3.1	10	523-107	
		拡張	3	ESSリンク統計のアダプタ種別追加					z/OS 3.1	10	523-108	
		拡張	4	仮想記憶専用域情報の拡充							11	523-109
		拡張	5	zIP関連情報対応						z/OS 3.1	12	523-110
	PNAVJOB1	拡張	6	ジョブステップ毎の最大完了コードを出力							12	523-111
		拡張	7	課金情報の出力を抑制					●		14	523-113
	PNAVIDB2	拡張	8	DB2サブシステム選択処理の改修							14	523-114

不具合一覧

プロダクト	プログラム プロセッサ	分類	項番	項目	非互換	数値 変更	表示 変更	スイッチ 追加	特記事項	参照 ページ	記事 番号
MF-SCOPE	AUDITMON	不具合	1	日時指定範囲外のデータでWARNING出力						6	523-103
	PNAVIADT	不具合	2	日時指定範囲外のデータでWARNING出力						7	523-104
MF-AUDIT	AUDITMON	不具合	3	日時指定範囲外のデータでWARNING出力						8	523-105
	PNAVIADT	不具合	4	日時指定範囲外のデータでWARNING出力						9	523-106
MF-eASSIST	PNAVJOB1	不具合	5	存在しないプリンタレコードの出力指定で配列エラー						13	523-112
	PNAVIDB2	不具合	6	サブセット時の処理範囲に誤り						15	523-115
	PNAVIADT	不具合	7	日時指定範囲外のデータでWARNING出力						16	523-116

◇表項目の説明

- 非互換 : 新旧バージョン間で、JCLやパラメータを変更しないとES/1が動作しない場合に●が付きます
- 数値変更 : 本バージョンの適用により出力される値(数値/文字列)に変更がある場合に●が付きます
- 表示変更 : 新規項目追加等により、レイアウトが変更した場合に●が付きます
- スイッチ追加 : 新規スイッチが追加された場合に●が付きます
- 特記事項 : OSのバージョン、対象データなど環境が特定できる場合に明記します

文字コード変換支援JCLのご紹介

523-101. 文字コード変換支援 JCL(SORTETOA)

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—	

ES/1 NEO MF-eASSIST の Performance Navigator ホストプロセッサにより作成されたフラットファイルの文字コードを、EBCDIC から ASCII に変換します。SFTP (SSH File Transfer Protocol) にてフラットファイルを PC へ転送する場合、SFTP はバイナリモードでの転送のみサポートのため、事前に EBCDIC を ASCII に変換する必要があります。文字コード変換後に SFTP 転送を行うことにより、Performance Navigator でインポート可能な形式になります。

この JCL は支援ライブラリ (CPE.SAMP) 内に” SORTETOA” メンバーとして格納されています。

【入力フラットファイル】

- ・ VB(可変長)形式、順編成、レコード長 4000 バイト、EBCDIC コード

【出力フラットファイル】

- ・ FB(固定長)形式、順編成、レコード長 600 バイト、ASCII コード
- ・ 各レコード最終(600 バイト目)に改行コード付与

【CPE.SAMP (SORTETOA)】

```

//SORTETOA JOB (ACCT),MSGLEVEL=(1,1),MSGCLASS=X,CLASS=A,NOTIFY=USERID
//*****
//* SORT : EBCDIC --> ASCII 600BYTE RECFM=FB *
//*-----*
//* SORTIN - FLATFILE DATASET (EBCDIC) *
//* FBOUT - FLATFILE DATASET (ASCII,FB) *
//*****
//SORT EXEC PGM=JCLGEN,REGION=4096K,PARM=' SIZE=MAX'
//SORTIN DD DSN=FLATFILE.VB.EBCDIC,DISP=SHR
//FBOUT DD DSN=FLATFILE.FB.ASCII,
// DISP=(NEW,CATLG,DELETE),
// UNIT=SYSDA,SPACE=(TRK,(300,30),RLSE),
// VOL=SER=1IMXXX
//SYSOUT DD SYSOUT=*
//SYSIN DD *
SORT FIELDS=COPY
OUTFIL FNAMES=FBOUT,VTOF,
OUTREC=(5,599,TRAN=ETOA,600:'X'0A')

```

MF-ADVISOR

RAIDPRT0

523-102. ESS リンク統計のアダプタ種別追加

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—	z/OS 3.1

アダプタ種別「FIBRE 32GBIT」と「ETHERNET 40GBIT」に対応し、下記レポートのアダプタ種別で表示できるようにしました。

<対象レポート>

- ・ ESS リンク統計レポート (SW70)
- ・ ESS リンク統計時系列レポート (SW80)

【ESS リンク統計レポート (SW70)】

<V05L22R3>

```

(C) I I M CORP. 1987-2025      EXPERT SYSTEM / ONE      *** ENTERPRISE DISK SYSTEM ANALYSIS REPORT ***      RAIDPRT0 47
PSW=SW70                      --- ESS LINK STATISTICS REPORT ---                               VER=05 LVL=22

TYPE = 002107 , MODEL = 996 , SERIAL NUMBER = 00000LAR31 , DURATION = 00:17:37
LINK --- READ/RECEIVE OPERATIONS ---  --- WRITE/SEND OPERATIONS ---  --- I/O INTENSITY ---  ---REMARKS---
SAID ADAPTER TYPE TYPE ACCESS RESPTM PACKET XFER/S ACCESS RESPTM PACKET XFER/S READ WRITE TOTAL LOAD ACT%
      (/SEC)      (MS) (BYTES) (BYTES) (/SEC)      (MS) (BYTES) (BYTES)
0200 FIBRE 16GBIT ECKD 952.44 0.03 6320.86 6020259 262.25 0.01 989.20 259415 33.33 2.59 35.92 .....
0202 FIBRE 16GBIT ECKD 952.28 0.03 6324.96 6023111 260.23 0.01 1058.82 275536 33.24 2.62 35.86 .....
0203 FIBRE 8GBIT PPRC ..... 15.06 18.38 23043.6 346962 0.00 276.72 276.72 .....
0230 FIBRE 16GBIT ECKD 843.78 0.04 6520.11 5501551 256.15 0.01 1048.57 268592 30.70 2.57 33.27 .....
0232 UNKNOWN ECKD 841.21 0.04 6549.15 5509240 254.63 0.01 1028.55 261895 30.65 2.54 33.20 .....
0300 UNKNOWN ECKD 954.07 0.04 6323.23 6032784 258.83 0.01 1024.31 265120 33.77 2.59 36.36 .....
0302 FIBRE 16GBIT ECKD 950.48 0.04 6342.80 6028691 267.00 0.01 953.03 254455 33.68 2.54 36.22 .....
0303 FIBRE 8GBIT PPRC ..... 14.88 14.79 22724.8 338034 0.00 220.05 220.05 .....
0330 FIBRE 16GBIT ECKD 841.00 0.04 6532.09 5493491 252.17 0.01 1030.21 259787 31.02 2.51 33.53 .....
0332 FIBRE 16GBIT ECKD 838.80 0.04 6533.23 5480099 253.03 0.01 1041.89 263632 30.88 2.53 33.41 .....
    
```

<V05L23R1>

```

(C) I I M CORP. 1987-2026      EXPERT SYSTEM / ONE      *** ENTERPRISE DISK SYSTEM ANALYSIS REPORT ***      RAIDPRT0 47
PSW=SW70                      --- ESS LINK STATISTICS REPORT ---                               VER=05 LVL=23

TYPE = 002107 , MODEL = 996 , SERIAL NUMBER = 00000LAR31 , DURATION = 00:17:37
LINK --- READ/RECEIVE OPERATIONS ---  --- WRITE/SEND OPERATIONS ---  --- I/O INTENSITY ---  ---REMARKS---
SAID ADAPTER TYPE TYPE ACCESS RESPTM PACKET XFER/S ACCESS RESPTM PACKET XFER/S READ WRITE TOTAL LOAD ACT%
      (/SEC)      (MS) (BYTES) (BYTES) (/SEC)      (MS) (BYTES) (BYTES)
0200 FIBRE 16GBIT ECKD 952.44 0.03 6320.86 6020259 262.25 0.01 989.20 259415 33.33 2.59 35.92 .....
0202 FIBRE 16GBIT ECKD 952.28 0.03 6324.96 6023111 260.23 0.01 1058.82 275536 33.24 2.62 35.86 .....
0203 FIBRE 8GBIT PPRC ..... 15.06 18.38 23043.6 346962 0.00 276.72 276.72 .....
0230 FIBRE 16GBIT ECKD 843.78 0.04 6520.11 5501551 256.15 0.01 1048.57 268592 30.70 2.57 33.27 .....
0232 FIBRE 32GBIT ECKD 841.21 0.04 6549.15 5509240 254.63 0.01 1028.55 261895 30.65 2.54 33.20 .....
0300 ETHERNET 40G ECKD 954.07 0.04 6323.23 6032784 258.83 0.01 1024.31 265120 33.77 2.59 36.36 .....
0302 FIBRE 16GBIT ECKD 950.48 0.04 6342.80 6028691 267.00 0.01 953.03 254455 33.68 2.54 36.22 .....
0303 FIBRE 8GBIT PPRC ..... 14.88 14.79 22724.8 338034 0.00 220.05 220.05 .....
0330 FIBRE 16GBIT ECKD 841.00 0.04 6532.09 5493491 252.17 0.01 1030.21 259787 31.02 2.51 33.53 .....
0332 FIBRE 16GBIT ECKD 838.80 0.04 6533.23 5480099 253.03 0.01 1041.89 263632 30.88 2.53 33.41 .....
    
```

【ESS リンク統計時系列レポート(SW80)】

<V05L22R3>

```
(C) I I M CORP. 1987-2025 EXPERT SYSTEM / ONE *** ENTERPRISE DISK SYSTEM ANALYSIS REPORT *** RAIDPRTO 59
OPSW=SW80 --- ESS LINK STATISTICS TRACE REPORT --- VER=05 LVL=22

TYPE = 002107 , MODEL = 996 , SERIAL NUMBER = 00000LAR31 , SAID = 0232 (UNKNOWN) , LINK TYPE = ECKD
--- READ/RECEIVE OPERATIONS --- --- WRITE/SEND OPERATIONS --- --- I/O INTENSITY ---
YY/MM/DD HHMM ACCESS RESPTM PACKET XFER/S ACCESS RESPTM PACKET XFER/S READ WRITE TOTAL LOAD
(/SEC) (MS) (BYTES) (BYTES) (/SEC) (MS) (BYTES) (BYTES)
22/06/22 1017 NO DATA AVAILABLE OR ZERO
22/06/22 1030 NO DATA AVAILABLE OR ZERO
```

<V05L23R1>

```
(C) I I M CORP. 1987-2026 EXPERT SYSTEM / ONE *** ENTERPRISE DISK SYSTEM ANALYSIS REPORT *** RAIDPRTO 59
PSW=SW80 --- ESS LINK STATISTICS TRACE REPORT --- VER=05 LVL=23

TYPE = 002107 , MODEL = 996 , SERIAL NUMBER = 00000LAR31 , SAID = 0232 (FIBRE32GBIT) , LINK TYPE = ECKD
--- READ/RECEIVE OPERATIONS --- --- WRITE/SEND OPERATIONS --- --- I/O INTENSITY ---
YY/MM/DD HHMM ACCESS RESPTM PACKET XFER/S ACCESS RESPTM PACKET XFER/S READ WRITE TOTAL LOAD
(/SEC) (MS) (BYTES) (BYTES) (/SEC) (MS) (BYTES) (BYTES)
22/06/22 1017 NO DATA AVAILABLE OR ZERO
22/06/22 1030 NO DATA AVAILABLE OR ZERO
22/06/22 1045 NO DATA AVAILABLE OR ZERO
```

MF-SCOPE

AUDITMON

523-103. 日時指定範囲外のデータで WARNING 出力

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—	

【現象】

プロセッサは入力データを検査し、それが日時順になっていない場合は WARNING メッセージを出力します。

対象日時の指定がある場合はその範囲に絞って検査すべきでしたが、入力されたデータ全ての日時範囲で検査し、大量の WARNING メッセージを出力していました。

<メッセージ>

```
*WARNING* INPUT RECORD SEQUENCE IS IN ORDER.  
EXPECTED ---> 24/11/19 2023 , SYS = XXXX , RECID = 80  
ACTUAL -----> 24/11/19 2013 , SYS = XXXX , RECID = 80
```

【原因】

データ検査を日時範囲指定処理の前に行っていました。

【対処】

データ検査を日時指定範囲処理の後で行うように修正しました。

PNAVIADT

523-104. 日時指定範囲外のデータで WARNING 出力

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—	

【現象】

プロセッサは入力データを検査し、それが日時順になっていない場合に WARNING メッセージを出力します。

対象日時の指定がある場合はその範囲に絞って検査すべきでしたが、入力されたデータ全ての日時範囲で検査し、大量の WARNING メッセージを出力していました。

<メッセージ>

```
*WARNING* INPUT RECORD SEQUENCE IS IN ORDER. RECORD COUNT = 5  
EXPECTED ---> 18/04/19 1920 , SYSTEM = XXXX , RECID = 80  
ACTUAL -----> 18/04/19 1856 , SYSTEM = XXXX , RECID = 80
```

【原因】

データ検査を日時範囲指定処理の前に行っていました。

【対処】

データ検査を日時指定範囲処理の後で行うように修正しました。

MF-AUDIT

AUDITMON

523-105. 日時指定範囲外のデータで WARNING 出力

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—	

【現象】

プロセッサは入力データを検査し、それが日時順になっていない場合は WARNING メッセージを出力します。

対象日時の指定がある場合はその範囲に絞って検査すべきでしたが、入力されたデータ全ての日時範囲で検査し、大量の WARNING メッセージを出力していました。

<メッセージ>

```
*WARNING* INPUT RECORD SEQUENCE IS IN ORDER.  
EXPECTED ----> 24/11/19 2023 , SYS = XXXX , RECID = 80  
ACTUAL -----> 24/11/19 2013 , SYS = XXXX , RECID = 80
```

【原因】

データ検査を日時範囲指定処理の前に行っていました。

【対処】

データ検査を日時指定範囲処理の後で行うように修正しました。

PNAVIADT

523-106. 日時指定範囲外のデータで WARNING 出力

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—	

【現象】

プロセッサは入力データを検査し、それが日時順になっていない場合に WARNING メッセージを出力します。

対象日時の指定がある場合はその範囲に絞って検査すべきでしたが、入力されたデータ全ての日時範囲で検査し、大量の WARNING メッセージを出力していました。

<メッセージ>

```
*WARNING* INPUT RECORD SEQUENCE IS IN ORDER. RECORD COUNT = 5
EXPECTED ---> 18/04/19 1920 , SYSTEM = XXXX , RECID = 80
ACTUAL -----> 18/04/19 1856 , SYSTEM = XXXX , RECID = 80
```

【原因】

データ検査を日時範囲指定処理の前に行っていました。

【対処】

データ検査を日時指定範囲処理の後で行うように修正しました。

MF-eASSIST

PNAVICEC

523-107. zIIP 関連情報対応

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—	z/OS 3.1

zIIP 関連情報を読み込んだ際、フラットファイル出力できるように PNAVICEC プロセッサを拡張しました。この拡張によるスイッチの追加はありません。

【出力指定】

```
%PNDEFINE SUBSET=YES
```

【追加項目】

【プロセッサ(拡張)】レコード名：EX_PROC

フィールド名	説明
IIP_UNIT	zIIP で使用されたサービスユニット量
IIP_CP_UNIT	zIIP を使用可能な業務が標準 CP を使用したサービスユニット量
JAVA_IIP_UNIT	zIIP 使用時間のうち JAVA に使用されたサービスユニット量
JAVA_CP_UNIT	標準 CP で JAVA に使用されたサービスユニット量

523-108. ESS リンク統計のアダプタ種別追加

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—	z/OS 3.1

アダプタ種別「FIBRE 32GBIT」と「ETHERNET 40GBIT」に対応し、次の項目で出力できるようにしました。

【対象項目】

【ESS リンク統計】レコード名：ESSLINK

フィールド名	説明
R748LTYP	アダプタ種別

523-109. 仮想記憶専用域情報の拡充

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—	

仮想記憶専用域の情報を読み込んだ際、フラットファイル出力できるように PNAVICEC プロセッサを拡張しました。この拡張によるスイッチの追加はありません。

【出力指定】

```
%PDEFINE OPTDATA=YES
```

【追加レコード】

【仮想記憶専用域使用状況】 レコード名 : VS_PVT

フィールド名	説明
JOBNAME	ジョブ名
INTVL_CNT	合計インターバル数
SAMPLE	合計サンプル数
SZ_REG_REQ	ジョブにより要求されたリージョンサイズ (KB)
SZ_REG_ASIN_16B	16MB 以下のジョブに割り振られたリージョンサイズ (KB)
SZ_USER_REG_16B	16MB 以下のユーザーリージョン平均サイズ (KB)
SZ_FREE_16B	16MB 以下のフリーストレージ平均サイズ (KB)
SZ_LARGE_FREE_16B	16MB 以下の最大フリーストレージ平均サイズ (KB)
SZ_ALLOC_16B	16MB 以下の割り振り済みストレージ平均サイズ (KB)
SZ_REG_ASIN_16A	16MB 以上のジョブに割り振られたリージョンサイズ (KB)
SZ_USER_REG_16A	16MB 以上のユーザーリージョン平均サイズ (KB)
SZ_FREE_16A	16MB 以上のフリーストレージ平均サイズ (KB)
SZ_LARGE_FREE_16A	16MB 以上の最大フリーストレージ平均サイズ (KB)
SZ_ALLOC_16A	16MB 以上の割り振り済みストレージ平均サイズ (KB)
SZ_USER_REG_16B_MAX	16MB 以下のユーザーリージョン最大サイズ (KB)
SZ_FREE_16B_MAX	16MB 以下のフリーストレージ最大サイズ (KB)
SZ_LARGE_FREE_16B_MAX	16MB 以下の最大フリーストレージ最大サイズ (KB)
SZ_ALLOC_16B_MAX	16MB 以下の割り振り済みストレージ最大サイズ (KB)
SZ_USER_REG_16A_MAX	16MB 以上のユーザーリージョン最大サイズ (KB)
SZ_FREE_16A_MAX	16MB 以上のフリーストレージ最大サイズ (KB)
SZ_LARGE_FREE_16A_MAX	16MB 以上の最大フリーストレージ最大サイズ (KB)
SZ_ALLOC_16A_MAX	16MB 以上の割り振り済みストレージ最大サイズ (KB)

PNAVJOB1

523-110. zIIP 関連情報対応

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—	z/OS 3.1

zIIP 関連情報を読み込んだ際、フラットファイル出力できるように PNAVJOB1 プロセッサを拡張しました。この拡張によるスイッチの追加はありません。

【出力指定】

```
%PNJOB OPT INPUT=SUMMARY, SCOPE=YES, DTLREC=ALL
%PNSTPDTL
```

【追加項目】

【ジョブ詳細状況】レコード名：JOB_DTL_

フィールド名	説明
IIPCP	IIP プロセッサを使用可能な業務が標準 CP を使用したプロセッサ時間(秒)
IIP_NORM_FACTORS	IIP プロセッサ時間を標準 CP 時間に換算する際の正規化係数 (/256)
IIP_JAVA	IIP 使用時間のうち、JAVA に使用された時間(秒)
CP_JAVA	標準 CP で JAVA に使用された時間(秒)

【JOBSTEP 詳細状況】レコード名：JOBSTEP_DTL_

フィールド名	説明
IIP_JAVA	IIP 使用時間のうち、JAVA に使用された時間(秒)
CP_JAVA	標準 CP で JAVA に使用された時間(秒)

523-111. ジョブステップ毎の最大完了コードを出力

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—	

ジョブ詳細情報において、ジョブ内のステップの最大完了コードをフラットファイル出力できるように PNAVJOB1 プロセッサを拡張しました。この拡張によるスイッチの追加はありません。

【出力指定】

```
%PNJOB OPT SCOPE=YES, ELAPSDTL=YES
```

【追加項目】

【ジョブ詳細状況】レコード名：JOB_DTL_

フィールド名	説明
CCMAX	完了コード(ステップの最大)

523-112. 存在しないプリンタレコードの出力指定で配列エラー

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—	

【現象】

次の条件を全て満たす場合、配列エラーが発生していました。

<発生条件>

- ・ 入力データにレコードタイプ6(プリンタ情報)が無い
- ・ %PNJOB OPT PRT=YES を指定

<メッセージ>

```
1980 ----- INDEXED SYMBOL HAS INDEX VALUE WHICH IS GREATER THAN LIMIT ( LIMIT = 00065000 , ACCESS = 00065025 )
          COMPUTE PRTPOS=PRTPOSSV(TEMP)
===== PRINT INTERNAL TEXT OF COMPUTE ROUTINE =====
```

【原因】

発生条件を満たす場合、レコードタイプ6が無いに関わらず、配列処理を実行していました。

【対処】

レコードタイプ6が無い場合には配列処理をスキップするように修正しました。

PNAVIDB2

523-113. 課金情報の出力を抑止

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	●	

DB2 課金情報の出力を抑止するオペランドを追加しました。課金情報を使用していない場合、このオペランドを指定することにより、フラットファイルのデータ量が削減できます。

【対象レコード】

【DB2 課金情報(1)】レコード名：DB2ACC1

【DB2 課金情報(2)】レコード名：DB2ACC2

【追加オペランド】

```
%PNDB2 ACCDB2=NO
```

ACCDB2 = YES : 課金情報を出力する（省略値）
= NO : 課金情報を出力しない

【注意/制限事項】

- ・ %PNDB2 マクロを複数指定する場合、ACCDB2 オペランドは最後のマクロにのみ指定してください。

523-114. DB2 サブシステム選択処理の改修

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—	

出力する DB2 サブシステムを選択された場合の内部処理を改修しました。

これまでは、全サブシステムの情報を収集後、フラットファイル出力時にサブシステムの識別を行っていましたが、SMF データ読み込み時に、指定されたサブシステムのみデータを収集、出力するよう改修しました。

これにより、処理速度の改善、および一部のサブシステムで異常データがある場合のエラー回避が可能となります。

【出力指定】

```
%PNDB2 SUBSYS=(aaaa,bbbb)
```

523-115. サブセット時の処理範囲に誤り

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—	

【現象】

次の条件を満たす場合、出力されるフラットファイルが24時間を超える場合があります。

<発生条件>

- ・ SUBSET=YES を指定
- ・ 日時指定が省略値
- ・ 入力データが SMF タイプ 100 (統計情報)のみ、または入力データの先頭が SMF タイプ 100

【原因】

サブセット指定で日時範囲を省略値とした場合、先頭レコードから 24 時間を処理対象としますが、先頭レコードが SMF タイプ 100 の場合には 24 時間の設定を行っていませんでした。

【対処】

先頭レコードが SMF タイプ 100 の場合においても、日付指定が省略値の場合、処理範囲を 24 時間とするようロジックを修正しました。

PNAVIADT

523-116. 日時指定範囲外のデータで WARNING 出力

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—	

【現象】

プロセッサは入力データを検査し、それが日時順になっていない場合に WARNING メッセージを出力します。

対象日時の指定がある場合はその範囲に絞って検査すべきでしたが、入力されたデータ全ての日時範囲で検査し、大量の WARNING メッセージを出力していました。

<メッセージ>

```
*WARNING* INPUT RECORD SEQUENCE IS IN ORDER. RECORD COUNT = 5
      EXPECTED ----> 18/04/19 1920 , SYSTEM = XXXX , RECID = 80
      ACTUAL -----> 18/04/19 1856 , SYSTEM = XXXX , RECID = 80
```

【原因】

データ検査を日時範囲指定処理の前に行っていました。

【対処】

データ検査を日時指定範囲処理の後で行うように修正しました。

【PC】機能一覧 プログラム別

プログラム	分類	項番	項目	参照ページ	記事番号
Performance Navigator	拡張	1	Microsoft®365 Apps環境への対応	19	523-151
	拡張	2	Microsoft® Windows® Server 2025への対応	19	523-152
	拡張	3	Microsoft® Office 2024への対応	19	523-153
	不具合	4	等高線グラフの設定変更でグラフ種が変更される	20	523-154
	不具合	5	バージョンアップ時にデータフォルダパスが変更される	20	523-155

【PC】機能一覧 カテゴリ別

拡張一覧

プログラム	分類	項番	項目	参照ページ	記事番号
Performance Navigator	拡張	1	Microsoft®365 Apps環境への対応	19	523-151
	拡張	2	Microsoft® Windows® Server 2025への対応	19	523-152
	拡張	3	Microsoft® Office 2024への対応	19	523-153

不具合一覧

プログラム	分類	項番	項目	参照ページ	記事番号
Performance Navigator	不具合	1	等高線グラフの設定変更でグラフ種が変更される	20	523-154
	不具合	2	バージョンアップ時にデータフォルダパスが変更される	20	523-155

Performance Navigator(拡張)

523-151. Microsoft®365 Apps 環境への対応

Microsoft®365 Apps に対応しました。対象となる更新チャンネルは次の通りです。

<更新チャンネル>

チャンネル	バージョン	ビルド	サービス開始日	サービス終了日
半期エンタープライズチャンネル	2408	17928.20392	2025/1/11	2026/3/10
	2502	18526.20472	2025/7/8	2026/3/10
	2508	19127.20484	2026/1/13	2027/9/8

523-152. Microsoft® Windows® Server 2025 への対応

Microsoft® Windows® Server 2025 に対応しました。

523-153. Microsoft® Office 2024 への対応

Microsoft® Office2024 に対応しました。

Performance Navigator(不具合)

523-154. 等高線グラフの設定変更でグラフ種が変更される

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—	

【現象】

次の条件を満たす場合、等高線グラフのグラフ種が変更され別のグラフとして再登録されていました。

<発生条件>

- 登録済みの等高線グラフの設定を変更する

【原因】

設定変更に関わるプログラムのロジックミスでした。

【対処】

プログラムを修正し、設定変更後もグラフ種が変わらないようにしました。

523-155. バージョンアップ時にデータフォルダパスが変更される

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—	

【現象】

次の条件を全て満たす場合、データフォルダ(x:¥IIM_DATA)のパスが意図せず変更されていました。

<発生条件>

- ES/1 Webのみインストールされており、Performance Navigatorはインストールされていない

<現象の例>

- バージョンアップ前はE:¥IIM_DATAだったが、バージョンアップ後にC:¥IIM_DATAになってしまう

【原因】

バージョンアップ時のデータフォルダパスは次のレジストリ値を参照します。

HKEY_CURRENT_USER¥Software¥VB and VBA Program Settings¥Pnavi32¥StartUp の FlatFile

しかしこのレジストリ値はPerformance Navigatorがインストールされていない環境では書き込まれません。

このためデフォルトのC:¥IIM_DATAを採用してバージョンアップしていました。

【対処】

バージョンアップ時のデータフォルダパスを次のレジストリ値から参照するように修正しました。

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥WOW6432Node¥IIM Products の DataPath

このレジストリ値は IIM 製品がインストールされると書き込まれます。